

# 大田区立龍子記念館

## 名作展「いつか夢見た桃源郷 川端龍子の戦後の作品から」

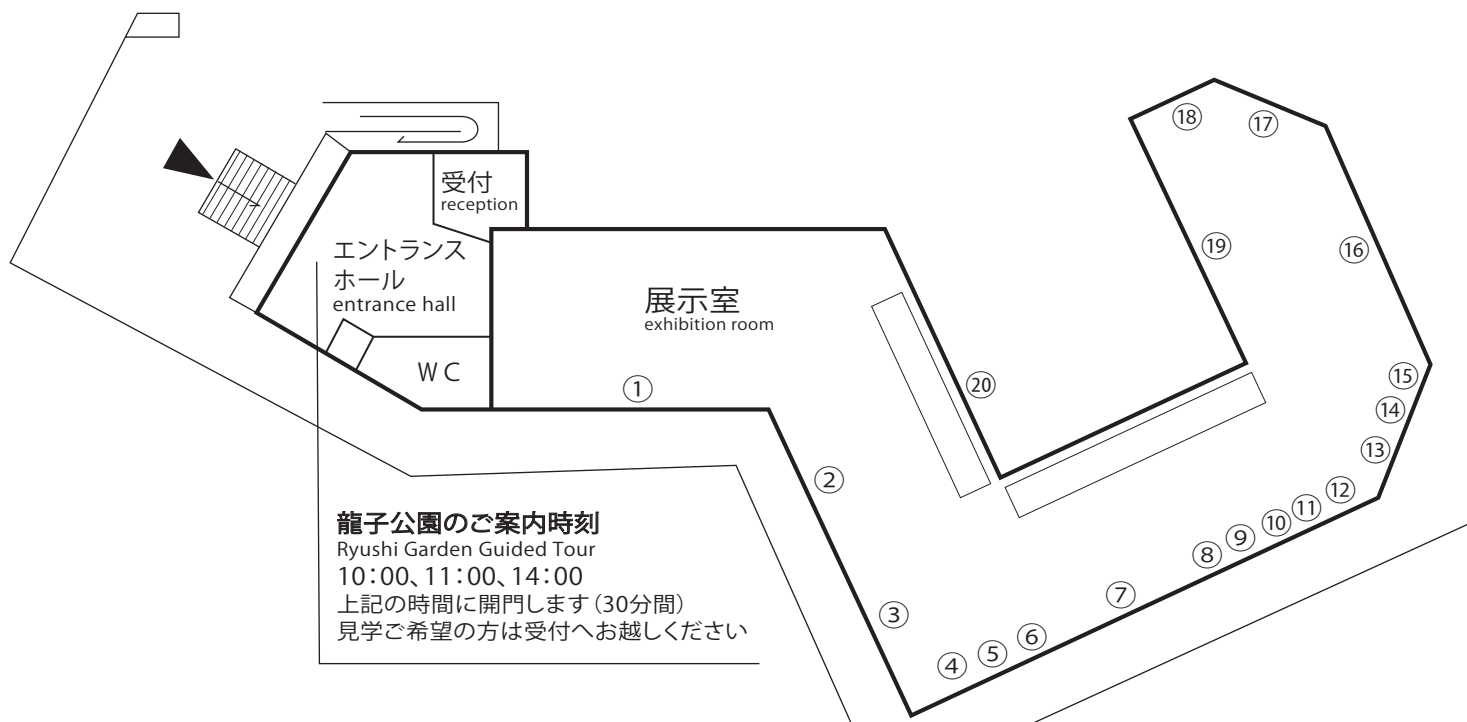
2024年6月22日(土)～8月12日(月・祝)

Ryushi Kawabata Exhibition June 20 – August 12, 2024  
“The paradise depicted in his works”

Ryushi Memorial Museum

Japanese painter Ryushi Kawabata (1885–1966) is known for his large paintings with bold strokes that have a powerful impact on all who behold them. However, Ryushi left behind a diverse range of works, including pieces that overflow with narrative elements, fantastic scenery conjured up by the artist's rich imagination, and paintings that showcase his capacity for seeing through kind eyes.

Ryushi's post-war paintings take a sharp turn away from the tone of his earlier pieces from times of higher tension before and during the war, with many depicting a world brimming with good humor. The bright, salubrious, and fun mood of his post-war paintings gives them the impression of being scenery from some kind of far-away paradise, separated from earthly life. This exhibition looks back at the works and ideas of Ryushi during his final years.



### 展示作品

作品名	Title	制作年/年齢	サイズ(縦×横)	形状	出品展
①「翡翠(かわせみ)」	The Realm of Jades	1951年(66才)	242.4×727.2 cm	紙本彩色 額装・六枚一面	第23回青龍展
②「寝釈迦」	The "Lying Sakyamuni" Mountains	1954年(69才)	245.4×727.2 cm	紙本彩色 額装・六枚一面	第26回青龍展
③「茸狩図」	Mushroom Hunt	1936年(51才)	243.5×485.0 cm	紙本彩色 額装・四枚一面	改組第1回帝国美術院展
④「獺祭」	Otter's Feast	1949年(64才)	154.5×245.0 cm	紙本彩色・額	第21回青龍展
⑤「梅花詩人」	Plum Blossoms And Poet	1956年(71才)	113.0×125.1 cm	紙本彩色・額	第16回青々会展
⑥「百子図」	Children Playing with an Elephant	1949年(64才)	直径 172.0 cm	紙本彩色・額	第9回青々会展
⑦「沼の饗宴」	Feast in the Pond	1950年(65才)	242.4×727.2 cm	紙本彩色 額装・六枚一面	第22回青龍展
⑧「仮装・魚籃観音」	Imitating Gyoran Kannnon, Goddess of Fish	1961年(76才)	112.8×84.0 cm	紙本彩色・額	第29回春の青龍展
⑨「仮装・不動明王」	Imitating Fudo, God of Fire	1961年(76才)	113.9×84.8 cm	紙本彩色・額	第29回春の青龍展
⑩「寒泳」	Midwinter Swim	1964年(79才)	123.9×79.2 cm	紙本彩色・額	第23回青々会展

裏面へ➡

# 大田区立龍子記念館 Ryushi Memorial Museum

名作展「いつか夢見た桃源郷 川端龍子の戦後の作品から」 2024年6月22日（土）～8月12日（月・祝）

Ryushi Kawabata Exhibition "The paradise depicted in his works" June 20 - August 12, 2024

作品名	Title	制作年／年齢	サイズ（縦×横）	形状	出品展
⑪ 寒泳（下図）	Cartoon of "Midwinter Swim"	1964年（79才）	123.9×79.2 cm	紙本彩色・額	
⑫ 「花下独酌」	Solitary Imbiber under the Cherry	1960年（75才）	112.0×111.0 cm	紙本彩色・額	第28回春の青龍展
⑬ 「酒房キウリ」	Bistro "Cucumber"	1956年（71才）	146.0×249.0 cm	紙本彩色・額	第28回青龍展
⑭ 「河童腕白図」	Naughty Kappa	1955年（70才）	154.5×73.3 cm	紙本彩色・額	第23回春の青龍展
⑮ 「ツイスト」	Twist Dance	1963年（78才）	122.0×110.0 cm	紙本彩色・額	第23回春の青龍展
⑯ <sup>かがりび</sup> 「椰子の篝火」	Bonfire of Palm Leaves	1935年（50才）	242.4×727.2 cm	紙本墨画淡彩色 額装・六枚一面	第7回青龍展
⑰ 「真如親王」	Prince Shinnnyo Crossing the Seas	1943年（58才）	242.0×484.0 cm	紙本彩色 額装・四枚一面	第15回青龍展
⑱ 「龍宮」	The Sea God's Palace	1964年（79才）	48.5×72.1 cm	紙本彩色・額	個展<甲辰>
⑲ 椰子の篝火（下図）	cartoon of "Bonfire of Palm Leaves"	1935年（50才）	242.4×727.2 cm	紙本彩色・額（六面）	
⑳ 「ひまわり」	Sunflowers	明治後期（20代半ば）	188.2×37.0 cm	油彩・布・額	
展示ケース	南洋スケッチ（17点）	1934年	37.0×27.3 cm（タテ・ヨコ混在）		
	南方スケッチ（8点）	1942年	37.0×27.3 cm（タテ・ヨコ混在）		計45点

## 本展の解説より

### ■龍子が秘湯でめぐりあった俗世離れた光景

温泉好きだった龍子は、本展出品の《翡翠（かわせみ）》の制作にあたって次のようなエピソードを語っています。

「辿りつつある道もいつしか径といふ心細いという方に通ずるやうな、正に山奥へと迷い込んだという気分である。（中略）そして巖鼻を一廻りすると……真に以外、人声がするのだった。」

「どうやらそれは和やかな談笑の声であって、恐怖を誘うような、気味の悪い感じのものではない。」「そこには若鮎のやうな娘が二人、ぴちぴちと水に……いや温泉に浸っているのである。」

「河童の湯治といった風体の自分であるが、泰西名画で見るニンフの美女を抱くの図を、日本ならば山の温泉で、自分が無遠慮に飛出したと仮定すれば、そうした一図も構成されるものだったのに」「この上に月下の天女との入浴などの場面を、重ねて望みませんが、この仙境の一夜を温泉に浸りながら過ごすのもまた一興である。」

川端龍子「桃源郷」（『旅』1950年5月）

## ○ギャラリートークの開催について

### （事前申込制）

学芸員が展覧会の概要と出品作について解説します（40分程度）。

6月30日（日）13:00～

7月21日（日）13:00～

8月12日（月・祝）13:00～



#### お申込み方法

メールの場合左の二次元コードからお電話の場合03-3772-0680からお申込みください

## ○展覧会の紹介動画をYouTubeで順次公開しています

龍子記念館では、展覧会や作品紹介の動画を作成し公開しています。展覧会やギャラリートークに来られない方もご自宅にいながら龍子作品をお楽しみいただける内容となっています。本展の紹介も順次公開していく予定です。ぜひチェックしてみてください。



龍子記念館の動画は、大田区文化振興協会のYouTubeチャンネルから

## ○龍子記念館の工事休館のお知らせ

龍子記念館は、展示室内の工事等のため2024年8月13日～11月末（予定）まで休館し、12月から再開の予定です。この期間、龍子公園のご案内もございません。あらかじめご了承ください。